

令和6年度 板橋区立志村第二中学校 授業改善推進プラン

教科名

保健体育

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	・今年度はシャトルランを選択していて、自分なりに努力した生徒が多かった。前向きに体力テストに臨んだが、ハンドボール投げなどの数値が低かった。投げる経験の少なさや握力の低さも要因と考えられる。 ・定期考査は、平均点は高く真面目に学習に取り組んだことがうかがえる。	・「ねらい」と「振り返り」の関係を見直す。生徒に明確に「ねらい」を提示し、「ねらい」に沿った「振り返り」を行うことで、授業のつながりや単元のつながりを意識させる。	・ICT活用に力を入れ、提出物をしっかりと提出する習慣を身に付けさせる。 ・振り返りの時間を確保し、自分のスキルアップが向上できるようにアウトプットできる環境を作る。
8 学 年	・今年度はシャトルランを選択していて、自分なりに努力した生徒が多かった。運動会が6月上旬にあり、他の体力テストは慌ただしく進めているので、もう少し個人目標を立てさせて取り組ませる。 ・定期考査は全体的に平均点が高い。思考・判断・表現の記述問題は二極化が進んでいる。ノート提出や課題の取組と比例しているので、課題提出の強化を行う。	・授業内でICTを活用する際に、十分な時間が取れないことがある。動画撮影の活用方法を工夫し、よりスピーディーにフィードバックし、実技力向上につなげる。 ・実技時間と振り返りの時間確保のバランスに課題があるので、生徒の実態に合わせて柔軟に対応する。	・動画の撮影を入れ、客観的に自己の技能を振り返る機会を多く設け、意欲を高める。 ・学習カードの内容を見直しさせたり、仲間と意見交換する「振り返り」を充実させ、自己の考えを伝えたり記述させたりできるようにする。 ・保健体育や体育理論の授業では、学習方法も伝えながら知識を深める授業内容を展開する。
9 学 年	・今年度はシャトルランを選択していて、自分なりに努力した生徒が多かった。運動会前に走運動は行っていたが、ダンスに充てる時間が多かったので、筋力トレーニングなどはあまり行えなかった。 ・定期考査は全体的に平均点が上がり、勉強した成果がう	・動画を撮影し自分の課題発見に努めているが、実技時間（運動量）の確保に課題がある。体力維持のためにも運動量を確保できるように授業の時間配分を工夫する。	・ICT機器を活用し、グループ内で互いの課題を見付け改善することで主体的に活動に取り組み、興味関心を高める。 ・1クラスの人数が多いので、引き続き場の工夫をし練習量を確保する。 ・個人の体力が高まるよう

かがえる。

に、單元ごとに必要な体力について考えさせ、ウォーミングアップに入れていく。